

アイランドシティはばたき公園 順応的管理計画 管理手法のレビュー（令和4年度実施）

レベル 1	レベル2（具体的な行動計画・事業実施方針）		レベル3（目標達成基準による管理）					維持管理作業（★：該当指標項目）																																																														
			指標項目	目標達成基準	目標達成年次	評価	目標達成状況	底泥の除去	水辺周辺のヨシの除去、草刈り	池干し	侵略的外来種の防除、駆除																																																											
「包括的目標」人と自然との共生を象徴する空間づくりを実現する	①	<p>★ 地形に起伏をもたせ、水辺から丘陵地へと続く多様な自然環境を創出する</p> <p>実施場所 No.1、No.2、No.3</p> <p>目指す状態 留意点・必要な維持管理等</p> <ul style="list-style-type: none"> 当該湿地に多様な自然環境ができ、そこに生息・生育する生物にとって良好な環境となっている 当該湿地で生息・生育を期待する生物が生息・生育できる自然環境ができている 	<p>水質</p> <p>水温、DO、濁度、pH、塩分、電気伝導率、酸化還元電位</p> <p>T-N, T-P</p>	<p>季節的な動向が過年度と同じであり、また、経年的に値が上昇し続けない</p>	3年	<p>渡り鳥の飛来や、日照り、水藻などの発生などの要素により季節的な変動はあるものの、経年的な悪化傾向は見られない。ただし、引き続き今後増加傾向に転じないか注視する必要がある。</p>	○ 達成	★	★	★																																																												
												<p>底質</p> <p>外観・臭い</p>	<p>底質の外観・臭い・堆積・厚・含水率・強熱減量が過年度と変化がない</p>	<p>季節的な変動はあるものの、経年的な著しい変化はみられないため、目標は達成できていると考えられる。令和4年度から観察を始めた堆積厚・含水率・強熱減量は、今後、経年的な変化に注視していく。</p>	○ 達成	★		★																																																				
																			<p>生息環境</p>	<p>整備初期段階の水深を維持する</p> <p>見直し対象</p> <ul style="list-style-type: none"> 整備初期段階の水面の広さを維持する 	<p>水深については、季節的な動向はあるものの、目標は達成できていると考えられる。</p> <p>夏季の開放水面が減少傾向にある。今後、確保していく開放水面の面積等について検討する必要がある。</p>	○ 達成	★																																															
																										<p>植生</p>	<p>見直し対象</p> <ul style="list-style-type: none"> 整備初期段階と比較してヨシが拡大し、水域の広さと水際の移行帯が顕著に減少していない 小型のシギ・チドリ類が利用できる裸地が確保されている 	<p>水域および移行帯はどちらも季節的な変動はあるものの、著しい減少は見られないので、目標は達成できていると考えられる。今後も季節的な変動に注意して維持管理を実施する必要がある。</p> <p>湿地全体の裸地の面積は減少傾向にあるものの、維持管理で採餌場となる水際の裸地を確保できている。令和2年度に確保したシギ・チドリ類が利用できる陸地の裸地は減少しているため、維持管理の中で対応していく。</p>	○ 達成		★	★																																						
																																	<p>鳥類の生息状況</p>	<p>シギ・チドリ類、サギ類、陸ガモ類の種数の減少が経年的に生じていない</p> <p>侵略的外来種が侵入していない</p>	<p>月ごとの種数は経年的に増加傾向にあることから、目標は達成できていると考えられる。</p> <p>侵略的外来種は確認されておらず、目標は達成できている。</p>	○ 達成		★	★																															
																																								<p>生物相</p> <p>水生昆虫類の生息状況</p>	<p>種数の減少が経年的に生じていない</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様性指数に顕著な変化が生じていない <p>侵略的外来種が侵入していない</p>	<p>季節ごとの種数は経年的に増加傾向にあることから、目標は達成できていると考えられる。</p> <p>すべての水域において、指数は経年的に高値で安定しており、目標は達成できていると考えられる。</p> <p>令和4年度4月に福岡県の要対策外来種であるイネミズゾウムシが確認されており、今後の動向に注視する必要がある。</p>	○ 達成		★	★																								
																																															<p>植物の生息状況</p>	<p>侵略的外来種が侵入していない</p>	<p>侵略的外来種の種数が年々増加傾向にあり、また特定外来種であるナルトサワギクについては、駆除を行っているが、完全な駆逐は困難な状態である。目標達成に向けて駆除を継続していく必要があると考えられる。</p>	× 未達成			★																	
																																																						<p>上記以外の分類群の生息状況</p>	<p>侵略的外来種が侵入していない</p>	<p>ウシガエル・アカミミガメ・ノネコの侵入が確認されている。駆除作業を適宜実施していく。</p>	× 未達成			★										
																																																													<p>期待する生物</p> <p>水生昆虫、水生植物</p>	<p>必要環境要素</p> <p>水域、多様な植生、泥の底質</p>	<p>維持管理作業の実施状況（令和元年～令和3年度）</p>				実施なし	毎年実施	人為的な池干しは実施なし。自然な池干しは年数回頻度で発生（No.2～4で発生しやすい）	適宜実施（ナルトサワギク等）